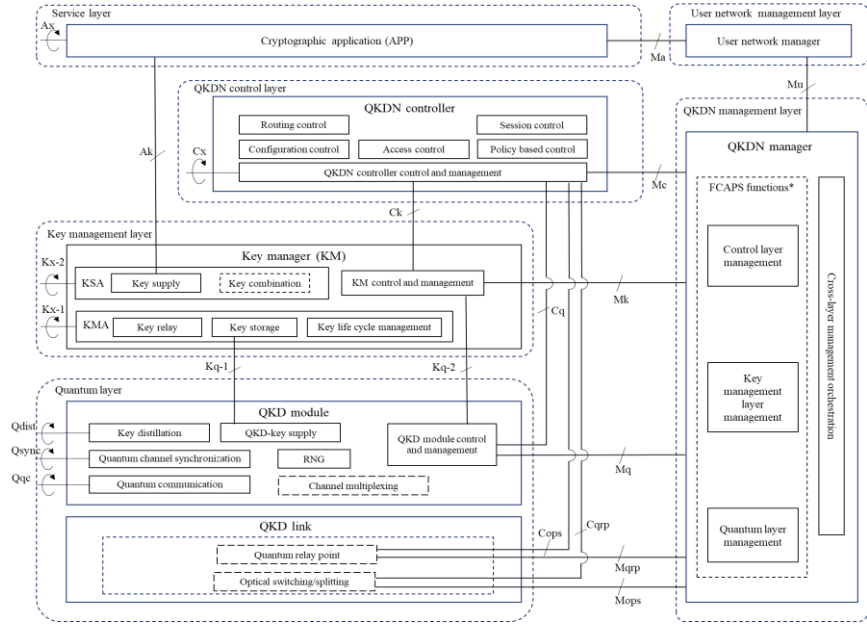
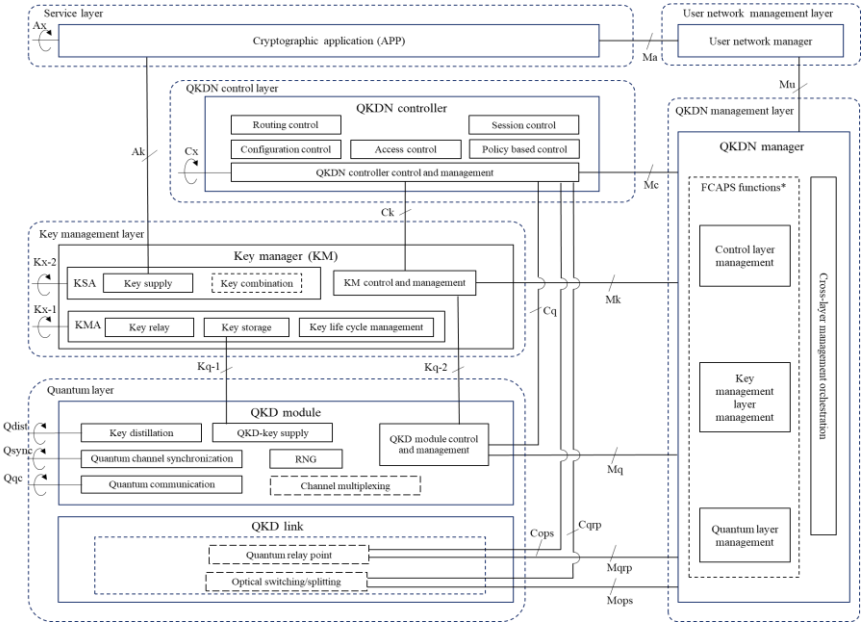


中期標準化戦略(概要と目的)		専門委員会・AG名	Network Vision専門委員会	1/3
企画戦略委員	辻河 亨（NTT） 渡辺 伸吾（KDDI）		登録委員数	45委員（18会員）
委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー	委員長：後藤 良則(NTT-AT) 副委員長：桑原 幹夫(日立製作所)		図解	
活動の目的・意義	• Future Networks (ITU-T SG13)、QoSアーキテクチャ(ITU-T SG12)関連の国際・国内標準化活動をリードし、プレゼンスを発揮する。 • CJK IT Standards Meeting 配下 NSA-WG*にて、日中韓（TTC,CCSA,TTA）で意見交換/整合を行い、国際標準化に向けての活動を促進する。 *NSA: Network and Service Architecture • 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件について信号制御、AI活用、IoTエリアネットワークの各専門委員会と連携した検討			
活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)	• NWの自律化等、NetworkとAIの密結合化に対応した活動の在り方検討。 • QKDNを含む、量子暗号への対応。 • OPEN Source、Operation等の検討を進めている各種フォーラムとの連携、情報収集の在り方検討。			
関連のSDGsゴール				
標準化方針	• SG13の将来網課題へのアップストリーム活動を総務省と連携し活動する。 • FG AN等自律型NW管理の実現に向けた課題の情報収集/分析、検討とアップストリーム活動。 • Beyond 5G、量子鍵配送について、専門家と連携して活動する。 • SG13勧告のダウンストリームは、会員要望に応じて対応し、制定済TTC標準並びに技術レポートの更新は、ITUの検討状況に応じて行う。 • CJK NSA-WG対応に際して、必要に応じ他専門委員会と連携する。 • 信号制御専門委員会でのSG11へのアップストリーム活動に連携する。		QKDNの機能アーキテクチャ	
国内外の標準化団体等の動向	• NWソフト化、自律化等NW内AI適用に関連した、将来網の要件、アーキテクチャ、機能の議論が、SG13/FGをはじめ、ETSI、TM Forum等で継続している。 • Big DATA、Cloud、DAN、ICN/CCN、Trust等も、SG13で研究が継続している。 • CJK NSA WGにて、Smart city、AI等の各種技術/用途における、中国、韓国との情報交換も継続。（CJK-17より：COVID-19の為、中断）			



QKDNの機能アーキテクチャ

新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み	専門委員会 - 他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。（今年度も、CJKは未開催） 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。 NGNアップストリーム SWG - ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案調整を実施。 - QKDN、Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。 QoS アーキテクチャ SWG - 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 NetSoft SWG - ネットワーク ソフト化、Autonomous NW関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を行う。 Autonomous Network AH - ITU-T FG AN対応の国内議論/情報共有と、専門委員会を横断した活動を実施。			
--------------------------------	--	--	--	--

関連する専門委員会または外部組織とその内容	- Security専門委員会（QKDN関連） - 信号制御専門委員会（CJK対応） - 信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会（2030年を見据えた将来網検討） IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を受けてのWI検討			
-----------------------	---	--	--	--

主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	SG13 :- FG AN:-	SG13 :5件 FG AN:12件	
	外部会合への参加・連携状況	SG13 :- FG AN:-	SG13 :7月会合、11月会合、3月会合(予定) FG AN:4月会合、6月会合、9月会合、2月会合(予定)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	-	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-	未実施	
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告 SG13 会合報告（未定）	・SG13会合報告（April Vol.37/No.1） ・SG13会合報告（October Vol.37/No.3）	

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み	専門委員会 - 他専門委員会、AGと連携して、CJK NSA-WGの対処を行う。（今年度も、CJKは未開催） 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関して信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアNWの各専門委員会と連携した検討。 NGNアップストリーム SWG - ITU-T SG13会合への対処方針並びに、寄書審議を実施し、TTCメンバからの提案調整を実施。 - QKDN、Autonomous NW関連課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を実施。 QoS アーキテクチャ SWG - 必要に応じて、NGNの品質情報転送機能の実現方法の標準化に関して、関連委員会と情報交換する。 NetSoft SWG - ネットワーク ソフト化、Autonomous NW関連技術課題の検討/寄書作成を行い、SG13へのアップストリーム活動を行う。 Autonomous Network AH - ITU-T FG AN対応の国内議論/情報共有と、専門委員会を横断した活動を継続。			
-----------------------------------	---	--	--	--

関連する専門委員会または外部組織とその内容	- Security専門委員会（QKDN関連） - 信号制御専門委員会（CJK対応） - 信号制御、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会（2030年を見据えた将来網検討） IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を受けてのWI検討			
-----------------------	---	--	--	--

主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	SG13 :- FG AN:-		
	外部会合への参加・連携状況	SG13 :- FG AN:-		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	-		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
③ ダウンストリーム	数	-		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	-		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告 SG13 会合報告（未定）		